

広報

# この10

2007  
No. 645

放水始めっ！

## ■震災の教訓を明日に生かす

鳥取県西部地震から7年目の10月6日、全町一斉防災訓練が行われ、避難訓練のほか、町内各地で消火訓練などが行われました。

(関連記事15ページ)

# 2590万円の赤字決算 平成18年度一般会計

平成18年度のまちの歳入歳出の決算が、第5回町議会定例会（9月議会）で認定されました。

町税や地方交付税の減少などによる歳入減、返済のピークを迎えた公債費の増大などにより、平成18年度の一般会計の実質収支は約2590万円の赤字となりました。まちがどのようにお金を使ったのか、一般会計を中心にお知らせします。

徹底した経費削減などにより  
当初見込みより赤字額を約9割縮小

まちの会計は、一般会計と6つの特別会計で構成されています。

平成18年度（平成18年4月～平成19年3月）の一般会計当初は約2億5199万円の財源不足額（赤字額）を計上していましたが、決算は、

歳入総額（まちに入のお金の総額）約30億2476万円から歳出総額（まちが支払うお金の総額）約30億4430万円を差引いた約1954万円に、繰越明許費（翌年度に

繰越す経費）約636万円を加えた約2590万円の赤字となりました。したがって、当初見込んでいた赤字額の9割近くを縮小できたこととなります。

この要因には、徹底した経費削減はもちろんのこと、当初見込みよりは地方交付税が多く交付されたことや、平成17年度からの繰越金があったことなどが挙げられます。

その他 (※2) 1億3,745万7,040円

国庫支出金 7,976万2,797円

県支出金  
1億8,783万6,721円

町債  
2億4,291万円

町税  
3億6,520万787円

諸収入 1億1,650万671円

繰入金 2,095万2,802円

その他 (※1) 2億124万7,130円

一般会計  
**歳入**  
30億2,475万9,948円

地方交付税 16億7,289万2,000円

自主財源 (23.27%)

依存財源 (76.73%)

その他 ( 1 )

分担金及び負担金、使用料及び手数料  
財産収入・寄付金、繰越金

その他 ( 2 )

地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、地方消費税交付金  
株式等譲渡所得割交付金、自動車取得税交付金  
地方特例交付金、交通安全対策特別交付金

# 一般会計決算 歳入

昨年度決算より約10%減  
半分以上を地方交付税に頼る

平成18年度決算の一般会計  
における歳入約30億2,476  
万円(前年度決算に比べ約10  
%減)の内訳は上のグラフに  
示したとおりです。

全体に占める割合の大きな  
ものから見ると、まちの行政  
規模などに応じて国から交付  
される地方交付税が約16億7  
289万円(全体の55.3%)、  
町民税・固定資産税などの町  
税が約3億6,520万円(全  
体の12.1%)、まちが借り入  
れる町債が2億4,291万円  
(全体の8%)、県から支払  
われる補助金などの県支出金  
が約1億8,784万円(全体  
の6.2%)の順になっています。

約7億3,900万円(全体の23.3%)、国・県により定められ  
た金額を収入とする依存財源  
(地方交付税、町債、県支出  
金など)が約23億2,086万  
円(全体の76.7%)となり  
ます。

底をつくまちの貯金  
平成18年度は繰り入れせず

まちでは、平成17年度まで  
まちの貯金である基金(財政  
調整基金、減債基金など)を  
取り崩して収入とし、実質赤  
字部分に補ってんして収支のバ  
ランスをとっていました。  
今年度決算においては、国  
に返還する和牛導入基金など  
の目的基金の取り崩しは一部  
行いましたが、財政調整基金  
などの残高も残り少なくなっ  
ており(約1億5,900万円)、  
赤字解消のための取り崩しは  
行いませんでした。

歳入を財源の性質別に見る  
と、まちが自主的に収入でき  
る自主財源(町税、施設使用  
料、手数料、繰越金など)が

## 平成 18 年度一般会計歳入決算集計表

(単位：千円、減額)

科目	本年度決算額	前年度決算額	比較増減	対前年度比(%)
町 税	365,201	361,943	3,258	0.9
諸収入	116,501	133,625	17,124	12.81
繰入金	20,953	247,289	226,336	91.53
地方交付税	1,672,892	1,725,654	52,762	3.06
町 債	242,910	303,735	60,825	20.03
県支出金	187,837	226,862	39,025	17.20
国庫支出金	79,763	131,964	52,201	39.56
その他( 1 )	201,247	103,506	97,741	94.43
その他( 2 )	137,457	127,482	9,975	7.82
計	3,024,760	3,362,059	337,299	10.03

## 一般会計決算歳入

減少するまちの収入  
財源確保にご協力を

国からの地方交付税の減少や、人口・所得の減少による  
税収減など、まちの収入は  
年々減少しています。

財源確保のため、現在、ま  
ちでは固定資産税率、公共下  
水道・農業集落排水使用料の  
引き上げを昨年度から行つて  
います。また、今年7月から  
はごみ処理手数料の値上げを  
行い、まちの皆さんに負担を  
お願いしています。

町税などの未収額約1億円  
徴収に全力を

平成18年度一般会計決算に

おいては、合計約1億円の未  
収金が発生しています。内訳  
は、町税(町民税・固定資産  
税)約1088万円、住宅使  
用料約258万円、住宅新築  
資金等貸付金元利収入約78  
18万円と、震災復興に要し  
た災害援護資金貸付金元利収  
入約841万円などです。こ  
れら多額の未収金も町の財政  
を圧迫している大きな原因の  
ひとつです。

また、特別会計においても  
約2183万円の国民健康保  
険税の滞納額などが発生して  
います。

まちでは、担当者をはじめ  
管理職らで特別チームを作り、  
全力で未収金の徴収にあたっ  
ています。

# 一般会計決算 歳出

前年度に比べ6<sup>パーセント</sup>減  
約30億4430万円を支出

平成18年度決算の一般会計  
における歳出約30億4430  
万円（前年度決算に比べ約6  
<sup>パーセント</sup>減）の内訳は下のグラフに  
示したとおりです。

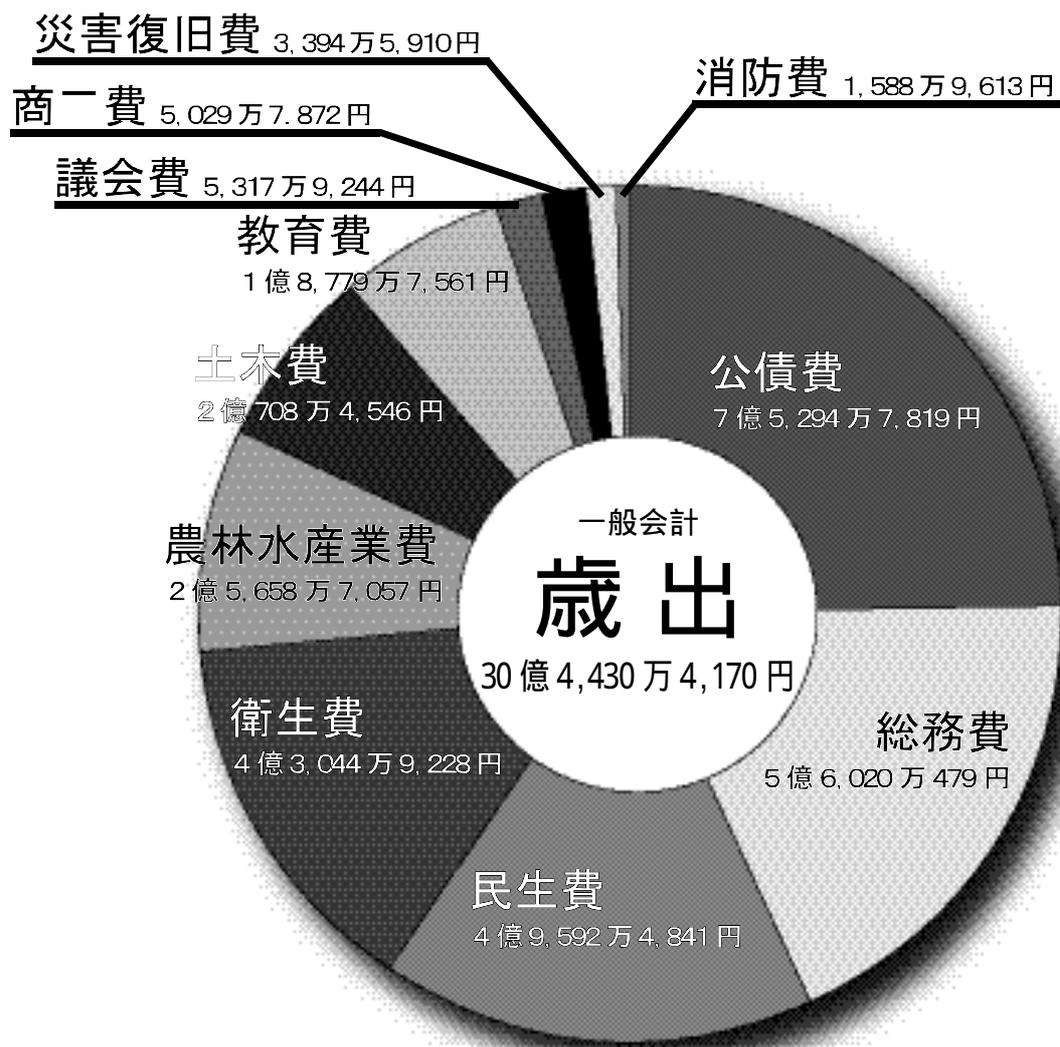
全体に占める割合の大きい  
順で見ると、まちが借金をし  
て事業を行った町債の返済金  
である公債費が約7億529  
5万円（全体の24・7<sup>パーセント</sup>）、西  
部広域行政管理組合負担金や  
防災行政無線設備整備、庁舎  
管理などの全体的な管理事務  
に使われた総務費が約5億6  
020万円（全体の18・4<sup>パーセント</sup>）、  
福祉・介護、保育所運営など  
に使われた民生費が約4億9  
592万円（全体の16・3<sup>パーセント</sup>）、  
保健事業、簡易水道事業への  
繰出金やごみ処理などの三町  
衛生施設組合負担金、日野病  
院への負担金などに使った衛

生費が約4億3045万円  
（全体の14・1<sup>パーセント</sup>）となっ  
ています。

借金返済がピーク  
当分の間赤字の見通し

現在、各種事業や鳥取県西  
部地震の復興経費などの借金  
返済のピークを迎えており、  
今後当分の間赤字決算が続く  
ことが予想されます。

まちでは、少しでも早く赤  
字財政から脱出するため、現  
在も引き続き町長はじめ職員  
の人件費を減額、また議員、  
教育委員、農業委員の報酬も  
削減しています。  
各種事業にかかる経費も徹  
底的に見直し、支出を最小限  
に抑えています。  
このように、まちではさま  
ざまな面で工夫して経費削減  
に務めています。



## 平成 18 年度一般会計歳出予算性質別集計表

(単位：千円、減額)

科目	本年度決算額	前年度決算額	比較増減	対前年度比(%)
人件費	619,069	699,745	80,676	11.53
物件費	223,012	284,265	61,253	21.55
維持補修費	13,005	21,606	8,601	39.81
扶助費	138,267	136,124	2,143	1.57
補助費	656,109	656,661	552	0.08
普通建設事業費	185,758	245,628	59,870	24.37
災害復旧事業費	33,946	54,497	20,551	37.71
公債費	760,978	717,947	43,031	5.99
積立金	693	553	140	25.31
貸付金	44,707	43,218	1,489	3.45
繰出金	368,760	383,286	14,526	3.79
計	3,044,304	3,243,530	199,226	6.14

# 一般会計決算歳出

今年度の実質公債費比率は  
県内で最も高い30・2パーセント

今年9月、今年度の県内市町村の実質公債費比率が公表され、日野町は30・2パーセント(昨年度に比べ7・8パーセント上昇)と県内で最も高い数値となりました。

実質公債費比率が25パーセントを越えると、一部の起債に規制がかかります。

### 実質公債費比率とは

標準財政規模(税収入額等に普通交付税を加えた額)に対する自治体の借金である起債の返済額の割合のこと。

起債の返済額には、水道と下水道等公営企業分や一部事務組合の負担金のうち、起債の返済額にあたるものも含まれます。

この比率は平成18年度から新しく導入された指標です。

# 特別会計決算

独自に運営される  
6つの特別会計

一般会計とは別に、まちは6つの特別会計があり、それぞれ独立して運営されています。

国民健康保険特別会計では、歳入総額約4億3800万円に対し歳出総額約4億3769万円となりました。

75歳以上の高齢者に医療給付を行う老人保健特別会計では、歳入総額、歳出総額ともに約7億2999万円となりました。

要介護認定者への給付などを行う介護保険特別会計では、歳入総額約5億3932万円、歳出総額が約5億2522万円となっています。

また、水道施設管理などを行う簡易水道特別会計では、歳入総額、歳出総額ともに約1億4503万円となりました。

公共下水道事業特別会計で

は、歳入総額、歳出総額ともに約1億3840万円となりました。

排水処理施設の維持管理などの農業集落排水事業特別会計では、歳入総額、歳出総額ともに約6049万円となりました。

健全な運営のため  
一般会計から多額の繰出金

特別会計の決算状況を見ると、いずれの会計も歳入・歳出ともに同額または黒字となっていますが、実際は一般会計から合計約3億4532万円を繰出して収支のバランスをとっています。この多額の繰出金が一般会計を圧迫する大きな原因となっています。

特に、借金をして施設整備などを行った簡易水道特別会計、公共下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計では、平成18年度末で合計約29億円の借金残高があり、その

## 平成18年度会計別決算の状況

(単位：千円)

会 計 名		歳入決算	歳出決算	歳入歳出差引額
特 別 会 計	国民健康保険	437,994	437,691	303
	老人保健	729,993	729,993	0
	介護保険	539,324	525,215	14,109
	簡易水道	145,034	145,034	0
	公共下水道事業	138,399	138,399	0
	農業集落排水事業	60,490	60,490	0

返済に繰出金が多く使われています。

このように、一般会計と特別会計には密接な関わりがあります。まちでは、現在行っている下水道料金の値上げや加入促進をはじめ、未収金の

徴収など、財源の確保に務めています。また、医療費などの給付費である国民健康保険、老人保健、介護保険については、介護予防・健康づくりなど、医療費自体を抑える取り組みを行っています。

## まちづくり説明会を開きます

現在の財政状況や、今後のまちづくりなどについて  
町民の皆さんに説明する「まちづくり説明会」を開きます。

黒坂会場（町公民館） 日時：11月6日（火）午後7時～

根雨会場（山村開発センター） 日時：11月9日（金）午後7時～

問合せ 役場総務企画課（電話 72 0331）

# 全体会でまちの課題を検討

## 第5回日野町まちづくり町民会議

これからのまちのあり方・まちづくりなどについて話し合う、日野町まちづくり会議の第5回の会議が、10月4日に町役場で開かれました。

今回は、前回までのグループではなく、まちの課題を委員全員で話し合う全体会が行われました。そこで討議された意見の一部を紹介します。

今回の会議では、大きく分けて、「福祉・ボランティア活動について」「ごみ処理の問題について」「農業振興について」の3つの課題が意見として出されました。

ボランティア・福祉活動へ  
まちからも支援を

主な意見

高齢化が進み、根雨地区婦人会もなくなるなど、ボランティア活動も変わってきている。現在、「たんぼの会」に参加し、町のブックスタート事業の際にプレゼントする手さげ袋を作ったり、日野ボランティアネットワークの関係

のものを楽しく作っている。こうしたボランティア活動に若者の参加が少なく、後継者の育成が課題である。

子育て支援について。ひのっこ保育所に子育て支援室「おひさまひろば」が設けられているが、もう少し充実してほしい。教育と保育が入っていないと子育て支援は難しいのでは。調整役となる担当課がほしい。

月2回行われている高齢者のための配食サービス（弁当作り）について、現在はボランティアでされているが、弁当業者が宅配したいという話がある。

それはいいことだと思う。ボランティアでは限界がある。黒坂では業者が回っていたことがあったが、やはり家庭料理に近いものがないのとこととで現在の配食サービスとなっている。

小学校の運動会と町民運動会を一緒にすればコミュニケーションが図れるのでは。高齢者と若者の接点作りが必要。1〜2回やってみたらどうか。



各委員から意見が出し合われる

リサイクルの推進など  
ごみの減量化、経費節減を  
主な意見

ごみの減量化については、必要性を町民に再認識していただくことが重要。日野町は県下でもリサイクル率が低いので、リサイクルを推進していくべき。

在部は可燃ごみも置き場を定めてステーション方式で収集している。まち部でも不燃ごみ同様、ステーション方式にしたらどうか。その方が収集経費も安くなるのでは。

まち部ではごみ置き場の確保が難しい。  
空き地などを利用するなど自治会で解決してほしい。  
在部では協力して屋根つきの置き場を作っている。まち部でも同じようにやってはどうか。  
ごみ処理についての勉強会を各自自治会で行ってみては。

農業振興について

主な意見

前回までのグループ討議では、「農業は高齢者ばかりで行き詰まっている」「どこの農家にも保障してもらえない制度が必要」「過疎の農業をどうするのか、農業委員が中心と



農業はまちの最大産業

なっていかなければ」などの意見が出た。

委員の皆さんに農業の大変さを認識してもらうため、水路等の清掃を体験してみてもどうか。こういうことは机の上で言ってもためである。休耕田でソバやダイズを栽培して活用できないだろうか。

次回の会議は11月29日に開き、3つの班に分かれてのグループ討議が再度行われることになりました。

まちづくり町民会議は、およそ2か月に1回開かれ、町民からの委員22人で、今後のまちづくりなどについて検討する会議です。

# 「うつ」は治療できる病気です

10月22日～28日は「第55回精神保健福祉普及運動」期間  
 「おかしいな」と思ったらず相談しましょう

気分が落ち込み、何もする気が起きなくなったり、何をしても楽しいと思えなくなることは誰にでもあります。が、ふつうはいつの間にか元気を取り戻します。ところが、こうした抑うつ状態がいつまでも続き、なかなか回復しない場合があります。これがうつ（うつ状態・うつ病）です。うつは、決して特別な人がかかる病気ではなく誰もがかかる可能性があります。厚生労働省の調査によると、約15人に1人以上がうつを経験するとうデータが出ています。うつは、適切な治療やケアを受ければ回復する病気ですが、放っておくと日常生活全般にわたって消極的になり、健康状態や疾病を悪化させるなど、心身両面に好ましくない影響を与えるので注意が必要です。「おかしいな」と思ったら、精神科や心療内科でご相談いただくか、下記までご相談ください。

## 「うつ」にならないために

- ▽自分で何でも抱え込まず、負担を軽くしましょう
  - ▽生活の中で優先順位を決めましょう
  - ▽「自分は自分、他人は他人」の精神で
  - ▽生活の中の大きな変化に気をつけましょう
- ゆとりある生活を心がけましょう



連絡先 役場健康福祉課（電話 72 0334）  
 日野総合事務所福祉保健局  
 （電話 72 2037）

## 障害がある人への相談支援事業を行っています ～お気軽に相談窓口へ～

まちでは、障害がある人への支援として、昨年10月から相談支援事業を行っています。これは、障害がある人、その保護者・介護者などからの相談に応じ、必要な情報提供や権利擁護のための必要な援助などを行うものです。まちでは、役場健康福祉課の窓口のほか、まちが委託している次の5つの相談窓口で相談に応じています。困ったことなどありましたら、お気軽にご相談ください。

- 相談窓口 障害者生活支援センターすてっぴ（米子市道笑町2-126-4）：電話（0859）37 2120  
 障害者生活支援センターまちくら（米子市内町122）：電話（0859）35 5647  
 相談支援事業所 エポック翼（米子市米原1460 7）：電話（0859）36 2005  
 支援センターのぞみ（米子市夜見町3001 1）：電話（0859）30 0550  
 障害者支援センターさかいみなと（境港市外江町3413 3）：電話（0859）44 2472

問合せ 役場健康福祉課（電話 72 0334）

11月のがん検診の日程は次のとおりです。受診される方は、配布した受診票を持参のうえ受診してください。 問合せ：役場健康福祉課 担当 伊田（電話 72 0334）

## 子宮がん・乳甲状腺がん検診

実施日	会場	受付時間	対象地区
11月20日（火）	山村開発センター	午後1時～午後2時	根雨2～4区、三谷1・2区、貝原、高尾、濁谷、門谷、秋縄、三土、舟場、津地、安原
11月21日（水）	山村開発センター	午後1時～午後2時	根雨5・6区、下榎1・2区

11月の  
 がん検診  
 健康福祉課からお知らせ

## 体力づくり・地域づくりにさわやかな汗

町民の健康づくりと地域どうしの親ぼくを深めるため、恒例の町民体育祭が、9月23日に開かれました。(根雨地区大会：会場＝根雨小学校グラウンド、黒坂地区大会：会場＝黒坂小学校グラウンド)

会場では、綱引き、リレー、関所やぶりなどの競技が、地域ごとに結成されたチーム対抗で行われ、また応援席からは健闘をたたえる歓声が響き渡りました。

大会結果(総合優勝のみ掲載)

根雨地区大会 総合優勝：2組(根雨3区・4区)

黒坂地区大会 総合優勝：3軍(黒坂4区・5区)

# 町民体育祭



総合リレー、一斉にスタート(根雨)



黒坂地区大会恒例の入場演技。1軍はダルマの3・3・7拍子(黒坂)



ハチマキ締めて気合じゅうぶん(根雨)



意外と余裕?の表情(根雨)



これはくやしいあいこの連続(黒坂)



運動会といえば綱引き！（根雨）



旗とりは子どものお楽しみ（根雨）



綱を引く表情さまざま（黒坂）



声掛け合って力いっぱい（黒坂）



熱気も最高潮の総合リレー（黒坂）



仲良く息を合わせて（黒坂）



応援にも熱が入る（根雨）



借り物競争もひと苦労（黒坂）

## 第10回町教育委員会開催

教育委員会からのお知らせ

10月4日、第10回の町教育委員会を開き、次の議案について審議・承認されました。

議案 日野町立小・中学校通学区区域に関する規則の一部改正について

この規則に基づいて、小・中学校の児童・生徒は本人の住所地の属する学校に在学しなければなりません。町内に就学指定校が2校以上ある場合、教育委員会が相当と認めるときは、指定した学校を変更することができるよう、平成20年1月1日から改正します。指定校の変更ができる要件は次のとおりです。

いじめへの対応

通学の利便性など地理的な理由

部活動など、学校独自の活動への以降

その他、教育委員会が特に必要があると認める理由  
保護者からの変更の申し立てがあれば、教育委員会で審議・決定します。

## 日本管楽合奏コンテスト 全国大会に出場

～日野中学校吹奏楽部～

11月3日、東京都文京シビックホールで開かれる、第13回日本管楽合奏コンテスト全国大会に、昨年に引き続き日野中学校吹奏楽部生徒21人が出場します。どうぞご声援ください。



## 公立学校施設の耐震診断結果

日野町では、該当する学校施設の第二次耐震診断を、各学校の大規模改修に併せて行いました。結果は以下のとおりです。

診断後、平成12年10月に鳥取県西部地震が発生しましたが、施設の主要部分に被害はなく、壁等の亀裂の修復は完了しています。

緊急度は低いですが、耐震補強工事を行うときには、第三次耐震診断を併せて行うこととします。

学校名	施設名	耐震診断年度	診断結果	
			安全評価	緊急度判定
黒坂小学校	教室棟（昭和45年12月建設）	平成9年度	耐震補強	低
根雨小学校	教室棟（昭和49年3月建設）	平成8年度	耐震補強	低

なお、日野中学校は、昭和56年の新耐震基準で建設した建物であり、今回該当しません。

### 町子ども育成会議から

9月25日、第5回会議を開き、「保育所・小・中・高等学校の連携」をテーマに協議されました。

昔のように集落で、上級生と遊ぶことは少なくなり、伝えたいことをうまく伝えられなかったり、我慢することが出来なかったりする児童・生徒が増えています。

そこで、平成18年度から国の委託研究事業「豊かな体験活動推進事業」を受け、学校教育における様々な体験活動を通し、子どもたちの豊かな人間性や社会性などを育むため、2年間行っている事業内容を事務局から説明しました。

中でも、町内の保育所・小学校・中学校と高等学校の連携活動として、レクリエーション活動、稲作などの勤労生産学習やボランティア活動などを各学校ごとに連携して行っていることを各校長の説明を加え、紹介しました。

その結果、どの学校からも、異年齢の人との交流の中から思いやりの心や優しさを表現する方法を学んだり、自尊心や達成感を味わったり効果は確実に蓄積されている旨の報告がありました。

今後町内の学校の連携した活動は重要との意見が大半を占めました。保育所と小学生の連携で得たものが次の小学生と中学生又は高校生の連携に繋がっているか？

「保護者の参加や教師の関わりが十分なのか？」といった厳しい指摘もありました。

保護者の委員の中から「保護者が必ずしも同じ方向を向いて活動していなかったり、PTA活動にまったく参加しない保護者もいる。保護者の連携の必要性を感じている」といった意見も出されました。

そこで、小学校の統合ではなく、小規模校のため出来ないことを横の連携を図り行うとか、教師の能力向上のため上下の学校を行き来するなど様々な連携を模索する案も提案されました。

また、「既存の学校を存続したままで、連携して行う小・中学校一貫教育」にも議論が及び、次回の町子ども育成会議で内容を議論することとなりました。

町子ども育成会議では、会議での意見をまとめ、町に提言していきます。次の時代のまちを担う若い力を育むため、地域の皆さんも積極的に教育活動に参加してください。

# 黒坂出身の中川静香さん シングルス銅メダル 女子団体銀メダルを獲得

9月8日、13日まで、韓国安城市で開かれた、第13回安城世界ソフトテニス選手権大会に、黒坂出身の中川静香さん（ナガセケンコー(株)所属）が日本代表として出場し、女子シングルの部で第3位、女子団体の部では準優勝するなど大活躍しました。

大会には、世界40か国から約500人の選手・役員が参加し、6日間にわたって団体戦・個人戦が行われました。中川さんからは、「皆様の応援のおかげで、シングルス銅メダル、団体銀メダルを持ち帰ることができました。この経験を活かし、次こそ金メ

ダルを目指してますます精進していきますので、今後とも応援よろしく願います」とお便りをいただきました。中川さんには、これからも故郷日野町で培った技術を世界で発揮してほしいですね。今後の活躍がますます期待されます。



## インフルエンザを予防しましょう

寒くなるとインフルエンザにかかりやすくなります。  
次のことに気をつけて予防しましょう。

### インフルエンザの予防

ウイルスをもらわない、うつさない  
こまめにせっけんで手を洗い、うがいをする  
部屋の乾燥を防ぐ  
外に出るときはなるべくマスクを着用する  
時々部屋の換気をする

体に抵抗力をつける  
バランスのとれた食事を3食きちんととる  
睡眠を十分にとる  
過度の厚着を避け、適度な運動をする



65歳以上の人、今年12月31日までに65歳になる人を対象にインフルエンザ予防接種を行います。  
町内で予防接種が受けられる医療機関は以下のとおりです。

医療機関名	所在地	電話番号
日野病院	野田 332	72 0351
松田医院	根雨 229	72 0142

その他、西部地区市町村が委託する医療機関でも受けられます。詳しくは役場健康福祉課（電話 72 0334）までお問合せください。

接種期間 10月22日～平成20年1月31日まで  
自己負担金 1000円（住民税非課税世帯は500円）

インフルエンザ流行前の12月上旬までに受けることが望ましいです。予診票は自治会長を通じて対象者全員に配布します。

## ジャマイカってどんな国

国際交流協会・国際理解講座

外国人の講師を招き、外国のことについて理解を深めてもらおうと、9月18日、日野国際交流協会（小谷博徳会長）主催の国際理解講座が山村開発センターで開かれ、会員や町民約25人が参加しました。

今回は、講師に米子市の英語指導助手、ノーマン・モンローさんを迎え、出身地のジャマイカについての話を聞きました。

モンローさんは、「ジャマイカは観光が主産業の国。また、子どものころから陸上競技の教育をしっかりと受けるので、優秀な陸上選手も多く生み出しています」と話し、気さくに参加者らと交流していました。



「ブルマウンテンコーヒー」など、手にとって参加者らに説明

## まちの誇り、長江を学ぶ

生田長江入門セミナー



延暦寺は長江が漢籍を学んだゆかりのある寺

貝原出身の文芸評論家、生田長江について理解を深めようと、生田長江顕彰会・白つづじの会（河中信孝会長）主催の入門セミナーが、9月29日、延暦寺（根雨）で開かれました。

今回は、講師に昭和女子大学日本文学博士課程の中田親子さんを迎え、「生田長江の残したものと題した講演が行われました。」

中田さんは、フェミニズム研究の視点から、長江と平塚らいてうら女性運動家との関係や、長江自身の女性論などについて解説し、集まった約40人の参加者らは真剣に耳を傾けていました。

講演の後は、中田さんを囲んでのティータイムがあり、自由に意見交換をしていました。

## まちの話題

あなたの声や地域、職場での話題をお寄せください。  
☆役場総務企画課まで（電話72-0331）

## 秋のスポーツ大会結果

### 第22回日野カップサッカー大会

9月17日（根雨小学校グラウンド）

#### 大会結果

優勝 福米西サッカークラブ  
準優勝 河崎フットボールクラブ  
第3位 東山ジュニアフットボールクラブ  
根雨サッカークラブは、Aゾーン第3位、優秀選手賞に国重幸平さん

### 第19回日野町杯ソフトテニス大会

9月17日（日野中学校テニスコート、野田町民テニスコート）

#### 大会結果

小学生Aクラス  
優勝 三上・坂本ペア  
準優勝 西村・小谷ペア  
第3位 木村・長尾ペア  
小学生Bクラス  
優勝 名越・山本ペア  
準優勝 杠・長尾ペア  
第3位 長尾・稲田ペア  
中学生  
優勝 西村・頭本ペア  
準優勝 榎原・継岩ペア  
第3位 安達・稲田ペア  
一般Aクラス  
優勝 秋葉・藤田ペア  
準優勝 杉本・松本ペア  
第3位 音田・杠ペア  
一般Bクラス  
優勝 長尾・石田ペア  
準優勝 行田・小谷ペア  
第3位 小川・小川ペア





赤ちゃんも絵本に興味津々

まちでは、絵本を通して親子で温かい時間を過ごしてもらうため、赤ちゃんに絵本などをプレゼントするブックスタート事業を行っています。この事業は、今年4月以降に生まれた赤ちゃんに、絵本2冊とボランティア手づくりの木のおもちゃとバッグをプレゼントするもので、10月2日、山村開発センターで行われた乳幼児健診の際に赤ちゃんと保護者に品物が手渡されました。また、ボランティアによる絵本の読みかせや図書館の利用案内もあり、訪れた親子はリラックスした様子で話を聞いていました。

## 絵本とおもちゃのプレゼント

ブックスタート事業

## 10月6日は「日野町防災の日」

全町一斉防災訓練



役場前では、給水車による給水訓練

平成12年に発生した鳥取県西部地震の教訓をまちの防災に生かそうと、10月6日、全町一斉防災訓練が行われました。訓練は、午前9時に震度6強の地震が発生した想定で行われ、まちは直ちに災害対策本部を設置、住民は各自自治会で決められた仮避難所に避難しました。黒坂地区では、黒坂地区自主防災委員会（福田和也会長）が町公民館前に本部を設置しました。避難を終えた後は、それぞれの自治会で消火栓や消火器を使った消火訓練を行ったり、地域の消火栓・ホースの点検をするなど、いつ起こるか分からない災害への備えを再確認していました。



黒坂地区ではけが人の搬送・応急手当の訓練も

また、訓練終了後、山村開発センターで鳥取県西部地震から7年フォーラム（日野ボランティア・ネットワーク主催）が開かれました。西部地震での課題がその後の地震災害でどう生かされたかななどをテーマにしたこのフォーラムには、日野ボランティア・ネットワークの山下弘彦さんから県内の関係者を始め、中越地震、中越沖地震と2度の被害を受けた新潟県長岡市の危機管理防災本部総括副主幹・小嶋洋一さんがパネリストとして出席し、パネルディスカッションが行われました。パネリストらは、災害ボランティア活動などの体験をもとに意見を交換し合い、町内外から参加した約100人の参加者は、自分の被災体験を思い出し、うなずきながら聞き入っていました。



中越沖地震の状況を語る長岡市の小嶋さん（写真右）

町交流センター「リバーサイドひの」休館のお知らせ  
 日野町交流センター「リバーサイドひの」は、(有)フレッシュひのを指定管理者として営業を行ってききましたが、9月30日をもって指定管理を解除いたしました。  
 つきましては、10月1日から当分の間休館いたします。  
 営業再開までの間ご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

県立皆生養護学校  
 学校公開のご案内

県立皆生養護学校では、次のとおり学校公開を行います。作品展を開いていますので、どうぞお出かけください。  
 日時 10月25日(木)、26日(金)、29日(月)、30日(火)  
 場所 県立皆生養護学校(米子市上福原7-13-4)  
 問合せ 県立皆生養護学校(電話0859-226571)

女性の権利ホットライン  
 強化週間

法務局および県人権擁護委員連合会では、悩みを持つ女性が気軽に相談できる専用電話相談窓口「女性の権利ホットライン」を、女性に対する暴力をなくす運動期間中の1

週間を強化週間とし、開設時間を延長して相談に応じます。

男女差別、セクシュアル・ハラスメント、ドメスティック・バイオレンス、ストーカーなどの相談や困っている問題など、あらゆる相談に応じます。秘密は厳守しますので、お気軽にご相談ください。  
 期間 11月12日(月)～11月18日(日)  
 時間 平日 午前8時30分～午後7時、土曜日・日曜日 午前10時～午後5時  
 電話番号 0570-070810

この期間以外でも、平日午前8時30分～午後5時15分まで、この電話番号で相談に応じています。  
 問合せ 鳥取地方法務局人権擁護課(電話0857-22289)

ブラックバスなどの  
 再放流を禁止

水産動植物の繁殖保護のため、平成19年11月1日～平成20年10月31日までの期間、捕まえたブラックバス(オオクチバス属の魚)およびブルーギルを再びその川・池などに放すことが禁じられました。ご協力をお願いします。

県最低賃金が改正されます

10月21日から、鳥取県最低賃金が1時間621円に改正されます。

県最低賃金は、業種や規模および常用、臨時、アルバイト・パートタイマーなどの雇用形態にかかわらず、県内の事業所で働く全ての労働者とその使用者に適用されます。なお、最低賃金額には、次の賃金は含まれません。

- 精皆勤手当、通勤手当、家族手当
- 臨時に支払われる賃金
- 1月を超える期間ごとに支払われる賃金
- 時間外労働、休日労働および深夜労働の割増賃金
- び深夜労働の割増賃金
- 問合せ 鳥取労働局労働基準部賃金室(電話0857-291705)ほか、各労働基準監督署

ナタネ栽培で循環型農業を  
 里山元気塾「奥日野油田計画」

里山元気塾(小谷博徳塾長)では、ナタネ栽培・ナタネ油生産を軸にしたまちづくり計画「奥日野油田計画」を行っています。

小谷塾長は、「ナタネは循環型農業の優等生。種子からはナタネ油が採れ、その絞りかすは肥料として利用できます。また廃油からはディーゼル燃料ができます。元気塾では昨年からはナタネの栽培を始め、来年は150㍍の栽培を計画しています」と話しています。

「ナタネを栽培することで、春には黄色い花が一面に咲き、観光資源の一つにもなります。また、ミツバチを利用したハチミツ作りも将来的には考えています。そば栽培後や休耕田の雑草防止にも役立ちますので、ぜひ農家の皆さんに協力していただきたい」と意気込みもじゅうぶんです。

皆さんもこの計画に参加してみませんか。

ナタネの種をお分けします

里山元気塾では、希望者へナタネの種をお分けしています。興味のある人、休耕田の管理にお困りの人など、この機会にお申込みください。

申込み・問合せ 里山元気塾 小谷(電話74-0136)

## 病院長のひとりごと

### 看護師不足について



日野病院長 檀田 豊

前回に引き続き日野病院における看護師不足の現状をお話しさせていただきます。

### 3. ストレス度チェック

看護師不足を考える際、数と同様に仕事量も重要な因子です。最近、看護業務量の客観的評価法として、「看護必要度」が用いられるようになっていますが、今のところ日野病院ではこの方法による看護業務量評価は行っておりません。ちなみに、看護必要度はすでに診療報酬の特定集中治療室管理料やハイケアユニット入院医療管理料を得るための要件として導入されており、また来年の診療報酬改定における7:1入院基本料算定基準の見直しにも用いられています。

現在の日野病院看護師の仕

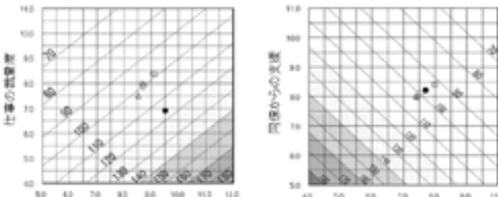


図1. 日野病院看護師のストレス判定図

事を類推するため、今年4月に日野病院労働衛生委員会が行った日野病院職員ストレス度チェックのデータを分析しました。なお、この調査には旧労働省「作業関連疾患の予防に関する研究班」ストレス測定研究グループが作成した職業性ストレス簡易調査票を用いました。図1は日野病院看護師を1つの集団として作成した仕事のストレス判定図です。これにより、心理的

なストレス要因が看護師のストレスや健康リスクにどの程度影響を与えているかが判定できます。仕事のストレス判定図の詳細については割愛しますが、興味をお持ちの方は東京医科大学公衆衛生学講座のホームページ (<http://www.tokyo-med.ac.jp/ph/ts/index.html>) をご覧下さい。結論としては、日野病院看護師の健康リスクは112であり、疾病休業などの健康問題が起きるリスクが全国一般と比較して12%大きいというものでした。さらに、その健康リスクの上昇には、「自覚的な仕事の量的負担」が強く関与していました。従って、「自覚的」とはいえ現在の日野病院看護師の仕事量は過大と判断せざるを得ないようです。

ストレス度チェックのデータを分析する過程でもう一つ興味ある結果が得られました。図2は「働きがい」を「高い」、「普通」、「やや低い」、「低い」の4段階のレベルで表し、その人数の割合を各部署で比較したものです。「働きがい」のレベルを「やや低い」、「低い」とした人数はいずれの部署でも20%未満であり、日野病院看護師全体としての働きがいは失われてはいないようです。逆に言えば、働きがいがある

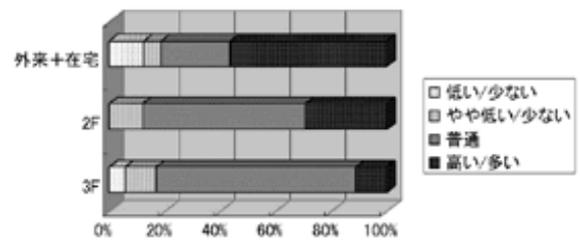


図2. 日野病院看護師の部署別ストレス「働きがい」の場合

からこそ、仕事量の多さに耐えているとも考えられます。しかし、「高い」レベルの「働きがい」を感じている人の割合には明らかに部署による違いがみられました。今後、なぜこのような差が生じるのかを検討しなければなりません。

以 のように、数の減少、過大な仕事量の自覚といった点からみて、日野病院の看護師不足は、かなり深刻であることがお分かりいただけたと思います。これに対して私どもはどのような対応が可能なのでしょうか。それについては、次回にお話させていただきます。

10月から勤務しています。米子市出身です。消化器内科を中心に内科の診療を行ってきました。日野病院では、在宅医療を中心に診療させて頂こうと考えていますが、どのような形であれ少しでも市民の皆様の健康問題に関してお役に立てよう努力しますのでよろしく願っています。



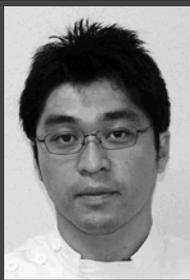
佐藤 徹 医師

9月に鳥取大学附属病院から転職となりました。以前も日野病院に勤務しており、約1年ぶりに戻ってまいりました。精一杯地域医療に貢献したいと考えています。何卒よろしく願っています。



熊野 健太郎 医師

この10月に米子医療センターから転職となりました。今まで整形外科の常勤医が一人の病院に勤務した事がありますが、今の不安な面もありますが、他の先生方や、コメディカルの方々と連携を大切にしたいと考えています。どうぞ宜しくお願いします。

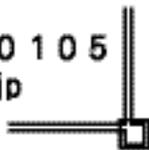


青木 利曉 医師

## 新任医師紹介

# 日野町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地 1  
電話：74-0212 FAX：74-0105  
E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp



## ボランティア活動で 生活を生きいきと

### 第6回おしどり学園

9月21日、町公民館で第6回おしどり学園を開きました。今回の一般教養講座のテーマはボランティア。「ボランティア活動について」と題して、日野町ボランティアセンターの山田利美さんの講演を行いました。

山田さんは、「仲間づくりを通じて、生きがいや健康づくり、楽しい活動に取り組むことで生活を豊かにしましょう」とボランティア活動について、自らの経験などをふまえながら話しました。

まず住民の皆さんにボランティアセンターを知っていたために、「センターはボランティア活動を行っている人やこれから活動を始めようと思っている人の交流の場で、ボランティアの情報や相談、活動場所の提供など活動の支援を行っている所です」とセンターの概要を説明しました。日ごろ私たちがぼんやりとしか分からなかった「ボラン



長年の経験を語る山田さん

ティア活動」ですが、基本的な考え方として山田さんは、自発性「特別にボランティア活動があるわけではなく、日々の生活の中で自然に取り組まれるものということ。自主性」ボランティア活動は人間としてあたりまえの行為を、自分の意思で取り組むということ。無償性「利益を期待して行うものではなく、結果として

自分自身の生活及び人生を豊かにするということ。公共性・社会性「お互いを助け合うものであり、誰もが困った人を助け、自分も困ったときは助けてもらうということ。

先駆性・創造性「自分ひとりだけでなく、できるだけたくさんの方と一緒に考え行動することが望ましいということ。この5つの考え方で、ボランティア活動は難しいことではないと話しました。

また、ボランティア活動をするにあたっては、相手の気持ちを大切にすること・秘密を守ること・謙虚さも必要などの心がけも必要ということ。さらに、「地域づくりや観光、教育など今こそボランティア活動が求められている時代です。ボランティアセンターを拠点にし、ボランティア活動を活かした新たな町づくりと地域の自立を目指しましょう」と、高齢者の経験と知識が求められていることを訴えました。

最後にボランティア活動の手続きについても説明、学園生にとってボランティア活動というものが身近に感じられる時間になりました。

### 速報！

## 第8回公民館まつり

11月22日（木）から25日（日）まで、第8回公民館まつりを開きます。  
お誘いあわせ、お越しく下さい。

第8回おしどり学園  
日時 11月22日（木）  
午前9時30分  
場所 町公民館  
内容 鏡山城について  
町歴史研修会  
講師 会長 牧智也氏  
問合せ 町公民館（電話74  
0212）  
その他 当日は町営バスを  
臨時運行します

# 朝のあいさつでマナーアップ



高校生をはじめ、さまざまな人が行き交う朝の根雨駅

町青少年育成会（柴原保明会長）では、9月18日から21日までの4日間、JR根雨駅前で「高校生マナーアップさわやか運動」に参加しました。これは、多くの大人が見本となり、あいさつ・声かけなどをして青少年を感化させることを目的にした運動で、ご

存知の人も多いと思います。この運動では、通学して行く高校生はもちろんですが、通勤する大人へもあいさつを行い、大人も変わって欲しいと願いました。町青少年育成会は今後も様々な青少年育成に係わる活動を行っていきます。

## 青パト会員を募集しています

地域防犯・生活安全パトロール協議会（通称「青パト」）では、子どもたちや高齢者を不審者から守るパトロールに参加していただける会員を募集しています。車に乗って町内を回ってくださる人、下校時に通学路に立ってくださる人など、会員の中でも活動はさまざまですが、安全・安心な地域づくりという同じ目的を持っています。不審者による事件を未然に防ぎ、全町・各地区で多くの会員の力で、安全・安心な地域づくりを進めましょう。会員になっていただける人は、協議会事務局（町公民館74-0212）までご連絡ください。よろしくお願ひします。

## あなたの作品を展示してみませんか



展示コーナーは公民館ロビーにあります

町公民館では、ふれあい展示コーナーの出版者を募集しています。みなさんが日ごろから取り組んでおられる創作活動を出展してみませんか。絵画、写真、書などジャンルは問いません。希望される方は、町公民館までご連絡ください。よろしくお願ひします。

## 町公民館の使用手続き

公民館を使用される方は、使用する3日前までに申請書を公民館へ提出してください。

使用できる日：年末年始（12月29日から1月3日）を除く日

使用できる時間：午前8時30分から午後10時まで

料金：町使用料条例による額

ロビーは、午前8時30分から午後5時30分まで開放しています。図書室もありますので、お気軽にお立ち寄りください。

## 投稿募集

町公民館では、読者の皆さんからの投稿をお待ちしています。教育問題、生涯学習、子育て、環境問題、スポーツに関すること、風物、趣味の紹介など、なんでも結構です。

字数：400字程度 形態：住所、氏名、年齢、電話番号を明記のうえ、手紙またはハガキでお送りください

送り先 〒689-5131 黒坂1243-1 日野町公民館「公民館だより」係

# りんぽかん 隣保館だより

編集 下榎隣保館 〒689-4526 日野町下榎157番地1  
電話：72-1191 (FAX兼)  
E-mail：rinpokan@town.hino.tottori.jp



## 第30回日野町解放文化祭

11月24日(土)・25日(日)の2日間、町解放文化祭を開くことになりました。今年度は、人権センターとして第1回目の文化祭でもあり、人権に関わる団体からそれぞれ1人ずつ実行委員になっていただき、前年度の反省会の意見なども参考に、20人の委員で開催に向けて会を重ねました。会場は隣保館・集会所に加え、老人憩の家でも催しもの開催予定です。町民の皆さん、ご家族ご近所お誘いあわせてお越しください。詳しくは、下榎隣保館にお問合せください。

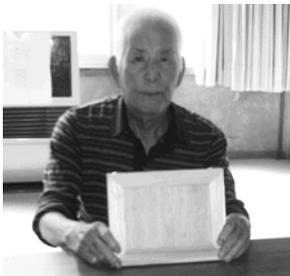


おしゃべりしながら楽しく作業

## 日本の伝統、わらぞり作り

隣保館交流事業の一環として、10月3日、老人憩の家で、わらぞり作り交流会を開きました。秋晴れとなったこの日は、地区内外から15人が参加し、下榎の石田三千人さんの指導で、荷造り紐で「ぞり」を作りました。日野高校のペリー先生も参加し、日本の文化を学ぼうと一生懸命取り組みました。一番難しかったのは、鼻緒の紐をなうことだったようです。なかなか思うようにできませんでしたが、指導者に手伝ってもらいながら、なんとか仕上げることができました。時間内に片方を作るのがやっとでしたが、これを機会に続けていただき、日本の文化の一つとして、伝えられれば良いですね。

## 思い出の一枚を飾ろう



9月19日、写真立て作りを、下榎集会所で行いました。

夏休みに親子でも作りましたが、好評だったので今回は、いろいろな年代の方に参加していただき、楽しく作業を進めました。

前は、ガラスを入れて仕上げましたが、新たにコルクボードをガラスに代えて入れ、メモなどをピンで留められるように工夫してみました。

- 11月の学習講座予定
- 10日(土)午後7時～ 編み物 (講師 安達利子さん)
  - 21日(水)午前9時～ 老人憩の家 (講師 柴田三千明さん)
  - 23日(金)午後7時30分～ 木工 (講師 生田清子さん)
  - 24日(土)午後1時30分～ 下榎隣保館 (講師 足羽鈴子さん)
- お気軽に参加ください。詳しくは下榎隣保館まで

第6回日野町民 ミュージカル



とき 12月16日(日)  
 昼・夜2回公演  
 チケットは11月10日から販売

第6回町民ミュージカル「神々の詩」  
 12月公演に向けて頑張ってます!!  
 今回は、日野の里を舞台にした  
 人間界と神々の世界を描いた物語です。  
 現在、子どもから大人まで34人の出演者とスタッフが  
 本番に向けて張り切っています。乞うご期待!

# 文化センター だより

図書館・ホール森の音楽隊

TEL 72-1300 FAX 72-1320

E-mail [hinososyo@book.town.hino.tottori.jp](mailto:hinososyo@book.town.hino.tottori.jp)

月～金 午前9時30分～午後6時  
 土・日 午前9時～午後5時

カレンダー  
 ○印が休館日です **11月**

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	③
4	5	⑥	7	8	9	10
11	12	⑬	14	15	16	17
18	19	⑳	21	22	㉓	24
25	26	㉗	28	29	㉟	

図書館の展示コーナー

## おしどり荘 水墨画展

11月1日(木)～29日(木)

### 図書館おはなし会

11月17日(土) 10:00～  
 場所：図書館絵本コーナー  
 秋を楽しむ本、わらべうたなど

11月25日(日) 13:30～  
 場所：町公民館

### 木のおもちゃづくり

11月25日(日) 9:30～  
 場所：町公民館

### サイエンスアカデミー講座

11月24日(土) 10:30～  
 場所：図書館郷土資料コーナー

### 町歴史研修会公開講座

11月15日(木) 10:00～  
 場所：山村開発センター  
 テーマ：「天保村絵図について」  
 講師：杉本良巳さん 参加無料

11/4

ととりのアートスタート2007

人形劇団クラルテ

## (日) 10:30～「あかちゃん劇場」

会場 ひのっこ保育所

内容 0～3歳のための人形劇「ポッケのワンピース」  
 「モンモとバンバはいつもいっしょ」

参加費 500円(大人・子ども共通) 先着50人まで受け付けます  
 申込み 町文化センター(電話72 1300)



好評でした  
 「おひさま劇場」  
 親子でアートを楽しむ会  
 「おひさま」主催の人形劇  
 を、8月21日、ひのっこ保  
 育所と町文化センターの2  
 会場で上演しました。  
 生の人形劇に、子どもた  
 ちは目を輝かせて観賞して  
 いました。

### 11月のホールイベント

11月2日(金) 14:00～ 日野中学校文化祭(前日祭)

11月4日(日) 9:00～ 日野中学校文化祭

11月23日(祝) 13:30～ 日野高校定期演奏会

# おひさまひろば

だより



ひのっこ保育所子育て支援室「おひさまひろば」では、保育所に入所していない子どもたちを迎え、毎週水曜日の午前9時～午前11時まで、ボランティアの方の協力もあり、親子で楽しく遊んでいます。

おひさまひろばの時間設定は次のとおりです。

時間	内容
9:00～11:00	受付（随時受付けています）
9:00～	絵本読み、室内おもちゃ遊び（積木、ブロックなど）ふれあい遊び（わらべうたなど）
9:30～	一斉活動
10:00～	外遊び（雨天時：室内遊び）
10:40～	片付け・ティータイム（各自持参）
10:50～	支援室掃除、次回日程打ち合わせ
11:00～	あいさつ（終了）

朝夕の涼しさが秋の深まりを感じさせる季節になりました。

9月はまだ暑い日もありましたが、外の日陰は気持ち良い風も吹き、砂遊びを楽しみました。

11月は町公民館にも出かけます。お天気がよければ公民館の周りを散歩したいと思います。

ぜひお誘い合わせのうえお出かけください。

連絡先 ひのっこ保育所 担当 音田  
(電話 72 - 0238)

## 11月の予定

11月7日(水): 町図書館からのおはなし会

11月14日(水): 折り紙遊び

11月21日(水): 都合によりお休みします

11月28日(水): 散歩(町公民館で開きます)  
(雨天時はお絵かき)  
保健師による育児相談

こころの散歩道 日野町俳句同好会 選

夕づつや民話の里の風涼し (講師) 谷 悦子  
子かまきり柔き鎌もていかくする 安達つるゑ  
夏帽子良く似合いけり師の笑顔 荒木 習子  
夕涼み卓をかこみてパーベキュー 梅林 春子  
酔芙蓉寺苑にこぼれ法話の日 勝瀬 京子  
虫の声歩をゆるやかに門を閉ず 川上 文子  
リハビリを重ねていつしか秋はじめ 久城 霞溪  
「秋ですね」夕空美しくひとり言 徳本千鶴子  
横向きも屈むもありて案山子立つ 眞壁富貴枝

(五十音順)



表彰状と楯を前にした森田勝彦会長

町民の健康づくりに貢献  
D.O.スポーツに表彰状  
文部科学省生涯スポーツ優良団体表彰

地域住民の健康増進などに貢献した団体を表彰する、文部科学省の平成19年度生涯スポーツ優良団体表彰において、まちの総合型地域スポーツクラブD.O.スポーツが表彰されました。おめでとうございます。

## 編集後記

この10月号は、いつもより4ページ多い24ページ必然的に(?)残業時間も増えるわけですが、夜の帰宅途中でも外はほのかなキンモクセイの香り、秋の深まりと田舎暮らしの良さを実感します(i)

氏名	年齢	住所
安達 一男	68歳	下菅
川端 金子	83歳	根雨
石田 耕二	79歳	舟場
10月届出分		中菅
金川 昭子	72歳	舟場
小谷 春治	85歳	津地
式地 俊夫	59歳	根雨

## おくやみ

「冥福をお祈りします」

氏名	性別	住所
兼田 佳奈	女	本郷
10月届出分		
亀田心太郎	男	下榎

## 赤ちゃん誕生

おめでとうございます

届出 9月11日、10月10日 敬称略

9月30日現在

項目	人口	前月比
人口	4,147人	(-6)
男性	1,936人	(-3)
女性	2,211人	(-3)
世帯	1,560戸	(-2)

# 11 月 暮らしのカレンダー

NOVEMBER (霜月)



1 木		19 月	
2 金		20 火	子宮がん・乳甲状腺がん検診 開発センター 受付：午後 1 時～午後 2 時 (詳細は 9 ページ)
3 土	文化の日	21 水	子宮がん・乳甲状腺がん検診 開発センター 受付：午後 1 時～午後 2 時 (詳細は 9 ページ)
4 日			古紙の収集日 (全町)
5 月	健康相談 町公民館 午前 9 時～午前 10 時 ----- 人権相談 開発センター 午後 1 時～午後 3 時		隣保館木工講座 下榎隣保館 午前 9 時～
6 火	まちづくり説明会 町公民館 午後 7 時～ ----- 法律相談 開発センター 午後 1 時～ 申込み：町社会福祉協議会 (74-0338) 11 月 2 日 〆切 ----- 乳児健診、BCG 予防接種 開発センター 受付：午後 1 時 15 分～午後 1 時 30 分	22 木	全町の可燃ごみを収集します ----- 町公民館まつり (25 日まで) 町公民館 (おしどり学園 午前 9 時 30 分～)
7 水	不燃ごみの収集日 (全町)	23 金	勤労感謝の日 (可燃ごみの収集は休みます) 22 日に金曜日収集の地区も収集します ----- 隣保館生け花講座 下榎集会所 午後 7 時 30 分～
8 木		24 土	町解放文化祭 (25 日も) 下榎隣保館ほか ----- 隣保館リフォーム講座 下榎集会所 午後 1 時 30 分～
9 金	まちづくり説明会 開発センター 午後 7 時～	25 日	
10 土	隣保館編み物講座 老人憩の家 午後 7 時～	26 月	
11 日		27 火	歯科検診・フッ素塗布 開発センター 受付：午前 9 時 30 分～午前 9 時 45 分、午後 1 時～午後 1 時 15 分
12 月		28 水	ペットボトル・不燃粗大ごみの収集日 (全町)
13 火		29 木	
14 水	行政相談 開発センター 午前 9 時～正午 ----- 資源ごみの収集日 (全町)	30 金	国民健康保険税 5 期分、介護保険料 5 期分 納期限
15 木		<b>ミニギャラリー情報</b> (町内の展示コーナーを紹介します) 蔵美術館 「入沢俊夫さん日本画展」 10 月 27 日～11 月末まで 山陰合同銀行根雨支店 「音田定穂さん水彩画展」 ～11 月 9 日まで 「長谷川利子さん写真展」 11 月 12 日～12 月 7 日まで 県西部地震展示交流センター 「2007 年発生 能登半島地震・新潟中越沖地震展」 「緊急地震速報スタート」 11 月末まで	
16 金			
17 土			
18 日			

直通電話	総務企画課	72 0331	住民課	72 0333	出納室	72 2105	健康福祉課	72 0334
	産業振興課	72 2101	黒坂支所	74 0211	公民館	74 0212	議会事務局	72 0335
	農業委員会	72 2103	教育委員会	72 2107	文化センター	72 1300	給食センター	72 1167
	地域包括支援センター	72 1852	ひのっこ保育所	72 0238	黒坂保育所	74 0225	下榎集会所	72 1191
	役場代表番号 (夜間・休日) 72 0331							

# 町長の定期便

第19回

## 財政再建をみんなの手で

近年の天候は何か異常ではないかと思われませんが、皆さんはどう感じられていますか。

この天候に合わせるかのように、日本中で考えられないような事件が次々と起きています。困ったことになりました。これでは安心して暮らすことができません。

さて、9月30日をもって、下榎の「町交流センター・リバーサイドひの」を一時閉館といたしました。これは、指定管理者として運営してまいりました「有フレックスひの」の経営が思わしくなく、指定管理者の指定解除申請がなされたことによります。

誠に残念なことではありますが、当分の間、当施設を閉鎖させていただきます。私は、この交流センターを将来に向けてどうするのか、皆さんのご意見も聞きながら検討を重ね、早期再開に向けて努力する所存です。皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

さて、先の9月定例町議会において、平成18年度歳入歳出決算を提出しました。

町議会では、決算認定にあたって、歳入では特に住宅新築資金等貸付金をはじめとした滞納金総額約1億円の徴収を強く求められました。町の財政再建に向けて、自主財源の乏しい中、最大の課題と認識しています。

また、歳出予算の執行については、経費削減の努力がみえるが、今後さらに努力されたいとの指摘をいただきました。当初予算約2億5千万円の赤字でのスタートでありましたが、決算では赤字額約2600万円まで縮減できたことに評価をいただきました。皆さんありがとうございます。町民が一丸となって取り組めば、財政再建は可能ではなからうかとの思いです。近々最新の財政推計を皆さんにお示ししますので、説明会へお出かけください。(10月7日記)

日野町長 景山 享弘

**町会生活改善推進協議会 料理 44**

いつもの天ぷらとひと味変えて 味つき衣でお弁当にもピッタリ



**【材料】 4人分**

- 【えび(中、8尾)、お好み焼き粉(適量)】
- A【にんじん(50g)、ピーマン(2個)】
- たまねぎ(1/2個) ●しめじ(50g)
- さつまいも(150g)
- B【お好み焼き粉(100g)、水(130~150ml)】
- 揚げ油(適量)

**【作り方】**

①えびは背わたを取り殻をむく。尾の水気をしごき先を少し切る。水気を取ってお好み焼き粉をまぶす。

②Aと玉ねぎは太めの千切り、しめじは4等分に切る。さつまいもは5~6mmの厚さに切る。

ボウルにBを入れよく混ぜて、①・②につける。

鍋に油を熱し、160~170℃でAとたまねぎ、しめじ、さつまいもを揚げ、180℃でえびを揚げる。

※天ぷらの衣の濃度は水加減を見ながら調節する。薄めのほうがカラリと揚がる。



『至福の幸せ、いつまでも君を離さないぞ』  
撮影 石橋省三さん(島根県益田市)

**オシドリ** シーズン到来

昨年より3日早い10月3日、オシドリ60羽を確認しました。羽根の色は良くないけれど、1か月もすれば立派に変身します。時期が来れば南下してくるオシドリ。自然界の不思議な営みです。いよいよオシドリのシーズン到来。今年も一番に町民の皆様をオシドリ観察にご招待しましょう。どなた様もオシドリ案内人としてご協力をお願いします。

【連絡先】 オシドリグループ事務局  
森田(電話)72 0271

VOI. 116